

令和4年11月12日(土) — 令和5年3月12日(日)

『足迹』は、明治43年7月～11月、「読売新聞」に全86回連載された長編小説です(連載時は『足跡』表記。後に改題)。秋聲の妻である旧姓小沢はま(現長野県上伊那郡出身)の半生を題材に、幼い主人公〈お庄〉一家の上京と、さまざまな環境に揉まれ成長してゆく彼女の暮らしを描くもので、その内容が、はまの実人生において秋聲と出会い、やがて入籍するまでを描く代表作『徴』のちょうど前章にあたることから『徴』の姉妹編としても知られています。

出会う以前の人生から、生活をともにし、家庭を築き、やがて46歳という若さで先立つその瞬間までを小説に書き尽くした秋聲 — 本展では、『足迹』に始まる、はまの存在によって生み出された秋聲作品についてご紹介します。

足

あしあと

迹

— 書き尽くされた妻の生涯

EVENT

秋聲忌

〔石川近代文学館共催〕

日時：11月12日(土)

【第一部】墓前祭(13時～13時半)

於 静明寺(金沢市材木町28-18)

【第二部】記念講演(14時～16時) 於 徳田秋聲記念館

テーマ：「明治の前衛小説『足迹』の読みかた」

講師：大木志門(東海大学教授・徳田秋聲記念館前学芸員)

参加費：第一部・無料/第二部・観覧料金のみ

定員：両部とも20名程度(先着)

申込：徳田秋聲記念館までお電話にて(受付中)

〈主な展示資料〉

- ・石井柏亭筆 秋聲宛書簡
- ・秋聲筆はま宛書簡
- ・近松秋江自筆弔辞原稿(はま葬儀)(初公開)
- ・秋聲愛用折靴(初公開) など約50点

EVENT

展示解説

日程：12月10日(土)、1月7日(土)、

2月4日(土)、3月4日(土)

時間：11時～/14時～(各回40分程度)

会場：徳田秋聲記念館2階 企画展示室

参加費：観覧料金のみ

定員：各回5名(先着)

申込：各日、1ヶ月前よりお電話にて
(12月10日の場合は11月10日～)

Tokuda Shusei Kinenkan Museum

徳田秋聲記念館

石川県金沢市東山1丁目19番1号 TEL.076-251-4300・FAX.076-251-4301

開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

観覧料金 一般310円・65歳以上210円・高校生以下無料・団体(20名以上)260円



<https://www.kanazawa-museum.jp/shusei/>

